

水	1	大安・即位の日	定休日
木	2	赤口・国民の休日	
金	3	先勝・憲法記念日	
土	4	友引・みどりの日	
日	5	仏滅・こどもの日	
月	6	大安・振替休日	定休日
火	7	赤口	
水	8	先勝	
木	9	友引	
金	10	先負	
土	11	仏滅	
日	12	大安	定休日
月	13	赤口	
火	14	先勝	
水	15	友引	
木	16	先負	プチ茶会
金	17	仏滅	プチ茶会
土	18	大安	プチ茶会
日	19	赤口	定休日
月	20	先勝	
火	21	友引	
水	22	先負	
木	23	仏滅	
金	24	大安	
土	25	赤口	
日	26	先勝	定休日
月	27	友引	
火	28	先負	
水	29	仏滅	
木	30	大安	
金	31	赤口	

小間でのプチ茶会のご案内

新元号「令和」最初のプチ茶会を一階小間席にて
お楽しみいただきたくご案内させていただきます。
お薄一服 どうかお気軽にお洋服にてでもお立ち寄りくださいませ。

十代大樋 黒茶碗 鵬雲斎箱
銘 神光



5/16 17 18
木 金 土

同事
開催

水無月茶会・正札市 6/8・9

お買得品先取り！！特別内覧会

今回のプチ茶会では
この茶碗を使用させていただきます

桐竹嵯峨時絵大棗



The お道具拝見「惺斎・円能斎・淡々斎の御大典記念 好物道具」について

御大典とは、即位の礼・大嘗祭(即位の礼後に初めて行う、五穀豊穡を祈る新嘗祭)のこと。大正天皇、昭和天皇御大典記念として好まれたお道具の紹介です。

この棗は、昭和3年昭和天皇の御大典記念として10代宗哲で作られた、惺斎の好物。豪華な桐竹の模様が嵯峨時絵風に描かれ、内側は上品な金梨子地の玉蒔き仕上げ。これには大嘗会に用いられた大和錦という裂地で作られた袋が添っている。

黄葉鳳尾模様水指



この水指も、桐竹大棗同様、惺斎好で御大典記念として作られた。総黄葉で美しい鳳凰の尾の模様がある小振りの平水指である。蓋は10代宗哲作で桐木地掻合せ塗、ハツリ目あり。永楽妙全作。

日ノ丸萬歳釜



大正4年大正天皇御大典記念として円能斎が好まれたこの釜は、萬歳の文字が円能斎の筆。地紋の岩の絵は奥谷秋石下絵によるもの。



菊寿棚

淡々斎好のこの棚は、昭和天皇の御大典記念として岩木裕軒作で好む。後に好まれる寿棚の原形。天板と地板には菊花が胡粉で、葉が緑青で置き上げられている。

トオル社長の珍道中「松阪茶道協会」発会式に行ってきました

3月30日お天気に恵まれ、田村代議士(元厚生大臣)の主宰挨拶ではじまり、私もお話をいただきました。その後、旧小津邸でお茶会 濃茶は裏千家、薄茶は表千家。濃茶の点前は娘が最初に！薄茶は市長と共に行きました。この事業は「NPO 松阪文化歴史会」が運営し、茶道協会は、このNPO法人と連携し、松阪市の茶道行事に協力していくことになる予定です。私も松阪茶道協会の発展のために協力させていただきます！



左から竹上松阪市長・隣が私ご挨拶される田村 憲久氏

菓子器	遠州好黒縁高一閑造
菓子	夢見草 清甘堂製
蓋置	南鏡鶴丸 淡々斎箱
建水	松葉自画像松桶 即中斎箱
茶杓	御裳裾川の末ぞ逃げき
替	神風や八重の榊重重ねても
替	古萩 御所丸
茶碗	「松」長次郎焼
茶器	購所茶入 鵬雲斎箱「古今」
水指	仁清写柳橋 二代桐山造
棚	淡々斎好吉野棚 淡々斎箱 裕軒造
釜	乙御前透木釜 常寿文字 古浄味造
香合	黄交趾菊蟹香合 永楽保全造
花入	認得斎竹一重切花入 共箱「粟玉」
花	ケマンソウ・姫ウツギ
本席	如山斎一行 岩松無心風来吟 惺斎箱
待合	富岡鉄斎筆 山水面壁物
寄付	紀州大納言治宝公
	本居宣長合筆 山桜和歌横物

私たち2人の還暦茶会が、お天気に恵まれ様満開のなか無事に終えることができました。2日間で400名のお客様がありました。お手伝いいただいた方々にも感謝しています。今後ともよろしくお願ひします。森田亭 当日の会記を掲載いたします。 4月6日 7日 於 ガラリー森田2階 松華軒

令和 最初の推奨商品

華乃会お買得価格でのご紹介です！

福本未来 青楓川蟬茶碗 ¥28,500→¥19,900	山本蓼 色絵楓茶碗 ¥18,600→¥13,000	手塚祥堂 染付竹絵水指 ¥12,000	堀野証嗣 安南葡萄水指 ¥19,000	手塚玉堂 染付竹絵水指 ¥12,000	赤絵蓋



杜若 知立の無量壽寺にて photo by S,A

・編集の窓・
杜若 カキツバタ
開花時期は五月 昔、花の汁で布を染めたところから「書き付け花」と呼ばれ、かきつばたに変化したと言われている「燕子花」とも書く。あやめは乾いた土地、杜若は水の中から生える。花菖蒲は開花が六月。愛知県豊田市の無量壽寺がある愛知県知立市の八橋は、伊勢物語の昔から杜若の名勝地で庭園内にも在原業平によって詠まれた歌の歌碑と業平像が建てられている。
から衣 着つなれにし つましあれば
はるばる来ぬる 旅をしぞ思ふ
伊勢物語 在原業平

ギャラリー森田ホームページ
右記のQRコードを読み込み
アクセスしてください！

モネの池
今月の店内(出張版)
岐阜県関市の根道神社の近くに印象派の画家クロード・モネが描いた絵によく似た「モネの池」と呼ばれている池があります。水は湧き水で硬水のため微生物が育ちにくく絵画のように綺麗なまま保たれておるそうです。

月刊「ギャラリーいさん」編集プロジェクト

月刊
いつもの
さん
(題字・三輪休和)
114号 令和元年
2019年5月発行



令和元年
四月十七・十八日 天皇皇后両陛下が伊勢神宮に参拝されました。ご即位中最後の地方訪問、退位を報告する「親詣の儀」が行われました。陛下は、式年遷宮を終えた平成二十六年三月以来の御参拝になられた。日本の最初の元号は、飛鳥時代 大化の改新の際に定められた「大化」(いか、六四五年〜六五〇年)。その後大正律令制定で、天皇を中心に本格的な行政法、刑法を持つた「律令国家」が完成し、現在にいたるまで継続的に元号は続いている。令和は二四八番目の元号になります。